

雪国で挑む 理想のヘルスケア

社会医療法人孝仁会と提携

未病

HESTAが目指す地域ヘルスケアシステム



遠隔診断システムで早期診断

体調が気になれば、居間のテレビからかかりつけ医に相談できる。医師はスマートホームで蓄積した日々の健康データをもとに診断。専用カメラで顔色や患部なども鮮明な画像で診ることもできる。

早期診断



リフォームから介護予防まで

体の状態に合わせて家のリフォームを実施。5Gで介護施設と自宅をつなぎ、遠隔で介護予防運動メニューなどを提供。雪国なら冬の雪おろしなどの作業を軽減できる「HESTAルーフヒーティング」などもある。

HESTAルーフヒーティングの詳細はこちら▲

介護予防



HESTA防犯カメラ
ルーフヒーティングによる融雪の様子

在宅介護

日々の健康をデータ化

スマートベッドに取り付けたセンサー類で、就寝時の呼吸や脈拍、血圧などの状況を計測。データは起床後に洗面台の鏡をディスプレイにして確認できる。かかりつけ医と情報を共有することも。



退院時にスマートホーム相談

入院治療をして退院する前にスマートホームを提案。日々の健康管理から遠隔診断までできるスマートホームの普及で、ご本人も家族も安心して自宅療養できる体制を整える。



HESTAスマートホームの詳細はこちら▲



在宅介護を支援

栄養士監修でご当地特産品を使った「介護弁当」を開発し安価で提供する。認知症による徘徊は家族の重い負担に。「HESTA防犯カメラ」で玄関の出入りを顔認証で正確に把握し、警察とも連携して事故を未然に防ぐ。



HESTA防犯カメラの詳細はこちら▲



大雪や凍結の日も
高速・大容量通信で在宅診断

大倉はこのほど、北海道の地域医療に取り組む社会医療法人「孝仁会」と提携しました。家の中の家電や住設機器を遠隔で操作できる「HESTA AI スマートホーム」に医療・介護のメニューを導入するのが目的で、孝仁会グループ内企業の「あしのメディカル」を大倉グループにお招きし、開発を加速させることにしました。

大倉は建築事業を通じて多くの医療機関様とお付き合いがありますが、その中から孝仁会様を選んだ理由は「厳しい冬」にあります。孝仁会の本部がある釧路はとにかく冷え込む。道は凍結し、地元の方でも転んで怪我をしてしまうほどです。孝仁会の中核病院、北海道大野記念病院がある札幌周辺は雪が深い。雪かきをしなければ家の駐車場から車も出せず、具合が悪いのに病院にもいけません。医療従事者の皆さんも病院にたどり着くだけで一苦労。北国にこそ、住宅と地域医療をつなぐ次世代のヘルスケアシステムが必要だと感じました。齋藤孝次理事長の「冬の大地から理想の医療を作り上げたい」というお言葉を聞き、私は即断で提携を決めました。

まずは両者のノウハウを共有して高度な遠隔診断システムを開発。低価格で普及を図ります。大倉は新素材「グラフェン」を活用した省エネ型の融雪技術も持っていますので、ヘルスケア以外の安全・安心にも貢献できます。

雪国で暮らす皆様は、厳しい冬を経験しても故郷を愛していってほしい。それは自然が厳しすぎでなく、恵みや安らぎも与えてくれるからでしょう。自然の近くで安全で快適な暮らしを実現できれば、地方創生は必ず実現する。そう実感しています。

株式会社大倉 代表取締役 清浦静男

HESTA CHARGE 全国展開!



外出先でスマートフォンの充電が…。そんな時に役に立つのがモバイルバッテリーのシェアリングサービス「HESTA CHARGE」です。利用料は1日わずか165円(税込)。全国規模で設置を始めた。

